

バルバドス (Barbados)

- 小島嶼開発途上国特有の脆弱性の克服を支援することを基本方針とし、 防災・環境分野を中心に経済協力を実施。
- ●バルバドスへの援助総額は2014年までに累計約13億300万円。
- バルバドスは2011年OECD/DACの援助受取国・地域リストから外れたものの、上記脆弱性克服の観点から、支援を継続中。



国概要

(基礎データ)

- 面積:430平方キロメートル(種子島とほぼ同じ)
- 人口:28.4万人(2015年,世銀)
- ・ 首都:ブリッジタウン
- 民族:アフリカ系(約9割), ヨーロッパ系, 混血, インド系, その他
- 言語:英語
- 宗教:キリスト教(英国国教会, プロテスタント, カトリック), その他
- 政体:立憲君主制
- 議会: 二院制(上院21名, 下院30名)
- GDP:44億5,100万米ドル(2015年, 世銀)
- GNI: 一人あたり 14,800米ドル(2015年, 世銀)
- 経済成長率:1.0%(2015年,世銀)
- 失業率:12.3%(2015年)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

| (哈文) | |
|-------|-------------------|
| 1627年 | 英国植民地 |
| 1652年 | 英国直轄領 |
| 1834年 | 奴隷制廃止 |
| 1951年 | 普通選挙制施行 |
| 1958年 | 西インド連邦結成 |
| 1961年 | 英国自治領 |
| 1966年 | 独立 |
| 1966年 | 民主労働党(DLP)政権発足 |
| 1976年 | バルバドス労働党(BLP)政権発足 |
| 2008年 | DLP政権発足 |
| | |

(咳中)

援助実績(E/Nベース)

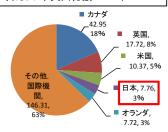
| スキーム | 額(累計)/人数(延べ) |
|--------|------------------------|
| 無償資金協力 | 0.10億円 (2014年度末時点) |
| 技術協力 | 12.93億円 (2014年度末時点) |

出典: ODA国別データブック2015 青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末) (注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

| スキーム | 金額/人数(直近年) |
|----------------|----------------------------------|
| 日本からバルドスへの輸出 | 31.3億円 (2015年, 財務省貿易統計) |
| バルバドスから日本への輸出 | 800万円 (2015年,財務省貿易統計) |
| 日本からバルバスへの直接投資 | 53億円 (2005年度までの累計, 外務省統計, 5件) |
| 在バルバス日系企業数 | 2社 (2015年10月時点, 外務省統計) |

バルバドスへの主要ODA供与国 (1977年~2014年累積, 出典:OECD/DAC) (単位:百万ドル,支出総額ベース)



人的つながり

| 項目 | 人数(直近年) |
|-----------------|-------------------------------|
| バルバドスにおける在留邦人数 | 7人(2015年10月時点, 外務省統計) |
| 在日バルバドス人数 | 22人(2015年末, 法務省統計) |
| バルバドスから日本への留学生数 | 2名(2015年5月時点,日本学生支援機構「留学生調査」) |
| 日本からバルバスへの観光客数 | 336人(2015年, バルバス統計局) |
| バルバドスから日本への観光客数 | 98人 (2015年 日本政府観光局(JINTO)) |

日本とバルバドスとの協力年表

| 年代 | 案件 |
|----------|--------------------------------|
| 1966年11月 | 独立 |
| 1967年9月 | 外交関係開設(在ベネズエラ大使館が兼轄) |
| 1971年 | バロウ首相の訪日 |
| 1977年 | 研修員受入れ開始 |
| 1980年2月 | 在トリニダード・トバゴ大使館が兼轄 |
| 1985年 | アダムス首相の訪日 |
| 1986年 | 査証相互免除取極 |
| 1988年 | サンディフォード首相の訪日 |
| 1989年 | サンディフォード首相の訪日 |
| 1989年 | 専門家派遣開始 |
| 1990年5月 | サンディフォード首相の訪日 |
| 1991年4月 | サンディフォード首相の訪日 |
| 1998年11月 | ローリー初代駐日大使(本国常駐)の信任状棒呈 |
| 2007年11月 | クラーク駐日大使(ノンレジデント)の信任状捧呈 |
| 2013年 | 草の根・人間の安全保障無償資金協力の開始 |
| 2014年 | 日・カリブ交流年 |
| 2014年7月 | 日・カリコム首脳会合開催 「日本の対カリコム政策」表明 |
| 2015年2月 | 開発協力大綱の決定 |
| 2016年1月 | 在バルバドス大使館を開設 |
| 2016年10月 | 品田初代駐バルバドス大使の信任状捧呈 |





2014年7月 日・バルバドス首脳会談





無償資金協力「経済社会開発計画」署名





草の根・人間の安全保障無償資金協力 「バルバドス島太陽光発電システム設置計画」供与式

日本による経済協力の開始。

カリコム諸国が抱える「小島嶼国特有の脆弱性」に鑑み、一人あたりの所得水準とは異なる観点から支援することの重要性を表明。

一人当たり所得が一定の水準にあっても、小 島嶼国等の特別な脆弱性を抱える国々等に 対しては、各国の開発ニーズの実態や負担 能力に応じて必要な協力を行っていく旨策定。







2016年 在バルバドス日本国大使館 開館記念レセプション